

街を行く

第31回 阿倍野 Abeno

コテコテの何処が悪い

阿倍野と呼ぶべきか天王寺と呼ぶべきか。大阪出身の筆者には、どちらも親しみあるエリアですが、かつてJRの環状線を利用していた立場としては、やっぱり「天王寺」です。東京のJR駅で言えば「東京」、地下鉄ならば「丸の内」。大阪にはもう一つ有名な駅があり、JRならば「大阪」、私鉄や地下鉄ならば「梅田」です。当然、ネーションワイドのJRと、在来線である私鉄や地下鉄では乗降客や起点の役目からネーミングが違うことは理解できます。しかし考えてみるとスケールの大きな駅名ですよ。

話を戻すと、阿倍野と天王寺では街の機能にも違いがあります。天王寺といえば聖徳太子が建立された「四天王寺」が有名で完全な寺町です。お彼岸になれば必ず連れていかれ、名物の釣鐘饅頭を買ってもらったものです。これは東京で言う人形焼きとってください。また、ここは大阪以南への玄関口ですから、規模は小さいけれど上野みたいな存在です。下町情緒というかコテコテの大阪ですから、この点でも上野的ですよ。そうそう、有名な「天王寺動物園」や美術館や博物館もあり、上野の森さながらの「天王寺の森」です。少し奥に行くと大阪の東京タワー「通天閣」があり、その脇には二度づけお断りの串カツ屋で有名な、ジャンジャン横丁もあります。かなりディープな大阪です。このディープな街が変わろうとしています、いやすでに変わっています。久しぶりに訪れました。まず目に入るのは大きなショッピングモール。かなり前に出来あがっていたのですが、実際これだけで



左——「阿倍野の高層ビル」こと、「あべのハルカス」。果たして高層ビル需要はこの街にあるのか。はたまたこれまでと違った街の顔が生まれるのか

右——通天閣と、上野の森さながらの「天王寺の森」

はあまり強いインパクトはありませんし、小生も興味ありませんでした。本音を言えば「モールひとつで街が変われば簡単な事だ」とも思ってしまう…。ですが今回は、大手デベロッパーが高層ビルを開発しているのですから。正直なところ高層ビルの需要がこの街にあるのか？なぜ、大阪の中でここのか？答えは簡単には見つかりません。

でも新しい街作りのコンセプトを考えると、無理のない話です。大きなターミナルがまちづくりの中心で、その乗降客にとっての便利さとマーケットの大きさを考えると、買い物する商業ゾーンの延長上にオフィスとホテルをつくるコンセプトは至極当然の考えだからです。

そこにはかつてと違った街の機能と顔ができあがっていきます。考えてみれば、阿倍野も大阪の中心から決してはずれてはいませんし、なぜこれまで阿倍野じゃなかったのか。このように考えると面白いで

すよね。梅田や御堂筋と違った、どんな個性を持った新しい街になるのでしょうか。ひょっとすればコテコテ路線の独特なコンセプトで新しい大阪の顔ができるのかもしれない。デベロッパーの皆さんへのお願いです。遊び心一杯のユニークなプロジェクトを！

南 一 弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締役役に就任。2006年株式会社ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役役に就任。

BLOG「南一弘の負けない不動産投資」
http://blog.livedoor.jp/minami_kazuhiro